

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第14回研修を開催しました！」

第14回の研修は、令和6年9月7日(土)に、岩手県農業研究センターおよび公益財団法人岩手生物工学研究センターの一般公開デーに参加し、岩手県の先進農業や研究について学びました。

岩手県農業研究センターでは、研究成果の展示や普及員による技術相談などが行われ、屋外では、トラクタやドローンなどの農業機械の展示販売や、農産物などの販売会が行われました。

研究成果の展示では、えだまめの栽培における、施肥量の違いによる生育結果や、本県で野菜栽培を行ううえで警戒しなければならない病害虫の研究などが展示され、なかでも、病害虫を観察するブースでは、担当職員から説明を受けて、興味を持って観察する受講生もあり、

その他様々な研究に興味を示していました。

また、隣接する岩手生物工学研究センターでは、前所長である、当研修の高畑施設長から、施設及び研究の概要について説明していただきました。

普段あまり目にすることのない施設内部や、バイオテクノロジーの研究成果の展示を見学し、化粧品など我々の生活に活かされていることを学び、研究が身近に感じられたようでした。

次回の研修は、9月13日(金)、14日(土)に外部講師をお招きして、病害虫・雑草総合管理についての講義と、実習では、トマトの摘芯作業などの栽培野菜の管理と、えだまめなどの収穫を行う予定です。



キャベツの病害についての展示を見る受講生



病害虫について担当職員から説明を受ける受講生



高畑施設長（中央）より生物工学研究センターの施設概要について説明を聞く受講生



きのこの加工食品を試食する受講生